

合併市町村基本計画の執行状況について
(平成24年度諮問対象事業)

資料 1

1 道路新設改良事業

(進捗状況)

道路新設改良事業については、4路線（市道10111号線、市道13125号線、市道13045号線・13047号線、市道13127号線）が計画されております。

計画されている4路線のうち、市道13045号線・13047号線については、平成23年度に改良工事が終了し、現在、市道13125号線の整備が進められております。

<参考－執行状況>

路線名		進捗状況	平成22年度	平成23年度	平成24年度 (予定)
事業 内容	市道10111号線	一部未完了	—	—	—
	市道13125号線	整備中	用地取得外	改良工事	用地取得
	市道13045号線・ 市道13047号線	整備完了	—	用地取得 改良工事	/
	市道13127号線	未着手	—	—	

【平成23年度の意見】

市道13127号線の整備については、市道13125号線と県道藤原宇都宮線を結ぶ路線であります。交通量や利便性を考慮し、他の路線に変更するなどの対応が必要です。

市道10111号線及び市道13125号線については、生活道路としての利便性を確保するため、早急な整備が望まれます。

【平成24年度の意見】

2 上水道事業統合整備

(進捗状況)

上河内地域の上水道事業については、東部地区と西部地区の二つの施設で運営しておりますが、災害等が発生した場合においても安定した給水ができるよう、平成21年度に策定した水道拡張事業計画に基づき、二つの施設を結ぶ東西連絡管の整備を進めていく予定となっております。

また、松風台団地の給水区域編入については、地元自治会との協議を行いながら給水区域編入を進めていくこととなっております。

【平成23年度の意見】

先の東日本大震災により、東北地方をはじめ全国各地でライフラインの被害が発生しました。このような中、災害時においても安定した給水が確保できるよう、東西連絡管については、早急に具体的な整備計画を明確にし、整備することが必要です。

また、松風台団地の給水区域編入については、自治会・開発業者と十分な協議を行い、課題の整理や解決策の検討を図り、早期に編入することが望まれます。

【平成24年度の意見】

3 公共下水道整備事業

(進捗状況)

公共下水道整備事業については、平成23年度までに中里地区を中心に污水管布設が行われ、上河内地域内の事業認可区域面積（238.4ha）に対する進捗率は68.9%となり、着実に整備が進んでおります。

また、平成24年度は、中里地区・今里地区の污水管布設が行われることになっております。

<参考－執行状況>

	平成19年度から平成22年度	平成23年度	平成24年度（予定）
事業内容	公共下水道 污水管渠築造工事	公共下水道 污水管渠築造工事	公共下水道 污水管渠築造工事
	特定環境保全公共下水道 污水管渠築造工事	特定環境保全公共下水道 污水管渠築造工事	特定環境保全公共下水道 污水管渠築造工事
実績	153.8ha	10.6ha	5.0ha
実績累計	153.8ha	164.4ha	169.4ha
進捗率※	64.5%	68.9%	71.0%

※ 進捗率＝事業認可区域面積（238.4ha）に対する整備面積

【平成23年度の意見】

公共下水道は、地域の生活環境の向上や自然環境の保全のためにも大変重要であることから、今後も引き続き計画的に整備することが必要です。

また、住みやすい住環境の整備のため、引き続き合併処理浄化槽設置の支援が望まれます。

【平成24年度の意見】

4 児童の健全育成環境の整備

(進捗状況)

児童の健全育成環境の整備については、平成20年度に上河内中央小学校区域及び上河内西小学校区域に「子どもの家」が設置されました。

また、平成21年度には、上河内東小学校区域の留守家庭児童会が上河内東小学校体育館内に移転され、今後は「子どもの家」へ移行されることになっております。

<参考－執行状況>

	平成19年度から平成22年度	平成23年度	平成24年度 (予定)
業内内容	上河内中央小学校子どもの家開設 (平成20年度)		
	上河内西小学校子どもの家開設 (平成20年度)		
	上河内東小学校留守家庭児童会移転 (平成21年度学校内既存施設へ)	—	—

【平成23年度の意見】

上河内東小学校区域の留守家庭児童会については、平成21年度に上河内東小学校体育館内に移転されましたが、就学前の子どものためにも、一日も早く「子どもの家」として、空き教室や新たな建物に移行することが必要です。

また、安心・安全な「子どもの家」を運営するためには、指導員の育成に努めるとともに、保護者からの意見を聞くことも必要です。

【平成24年度の意見】

5 中学校校舎整備事業

(進捗状況)

中学校校舎整備事業については、上河内中学校普通教室棟の耐震補強工事が平成13年度に実施されております。

また、特別教室棟については、平成18年度に耐震1次診断、平成21年度に耐震2次診断が行われ、平成27年度までに耐震補強工事を完了する予定となっております。

<参考－執行状況>

	平成19年度から平成22年度	平成23年度	平成24年度（予定）
事業内容	上河内中学校特別教室棟 耐震2次診断（平成21年度）	—	上河内中学校校舎 耐震補強工事実施設計

【平成23年度の意見】

中学校校舎の耐震化は、自然災害などから生徒の安全を確保する最優先事業であり、安心して快適な教育環境をつくるうえでも重要であるため、早急に整備を進めることが必要です。

なお、校舎の老朽化は進んでおり、自然災害等はいつ発生するかわからないため、耐震化を実施するまでの間は、日常的な点検整備も必要です。

【平成24年度の意見】

--

6 中学校体育館整備事業

(進捗状況)

中学校体育館整備事業については、平成18年度に上河内中学校体育館の耐震1次診断、平成21年度に耐震2次診断が行われ、平成27年度までに耐震補強工事を完了する予定となっております。

また、平成22年度には中学校体育館の南側に武道場が完成しております。

<参考－執行状況>

	平成19年度から平成22年度	平成23年度	平成24年度(予定)
事業内容	・上河内中学校体育館 耐震2次診断(平成21年度)	—	—
	・上河内中学校武道場 新築実施設計(平成21年度)	/	/
	・上河内中学校武道場 新築工事(平成22年度)		

【平成23年度の意見】

中学校体育館については、地域の避難場所として大切な役割を果たす施設であり
ますが、老朽化が進んでいることから、早急に耐震化を進める必要があります。

また、自然災害等はいつ発生するかわからないため、耐震化を実施するまでの間
は、日常的な点検整備も必要です。

【平成24年度の意見】

7 生涯学習センター整備事業

(進捗状況)

生涯学習センター整備事業については、まちづくりと人づくりの一体的推進を図るため、平成23年度に策定した「第2次宇都宮市地区行政推進計画」において、地域自治センターと生涯学習センターの一体的な整備を位置づけました。

今後は、一体的な整備に向け、施設に必要な機能や規模等について検討することになっております。

<参考－執行状況>

	平成19年度から平成22年度	平成23年度	平成24年度（予定）
事業内容	まちづくりと人づくりと一体的な推進体制を全市的に整備していく方針を踏まえ、必要な機能及び規模等について関係部局と連携し検討	まちづくりと人づくりの一体的推進を図るため、「第2次宇都宮市地区行政推進計画」において、地域自治センターの一体的な整備を位置づける	関係部局と連携し、生涯学習センター及び地域自治センターの一体的な整備に向けて具体的な整備内容について検討

【平成23年度の意見】

上河内生涯学習センターは、老朽化が進んでいるとともに、狭隘でバリアフリーの対応が不十分でありますので、利用者が安心して利用できるよう、早急に必要な機能及び規模等の整備方針を明確にし、整備する必要があります。

整備に際しては、求められる機能など地域の意見を十分に反映させ、誰もが安全かつ快適に利用できる施設とすることが望まれます。

【平成24年度の意見】

8 農産物直売所等整備事業

(進捗状況)

農産物直売所等整備事業については、地場農産物を扱う直売所等に対して、消費者ニーズに対応した新鮮・安全・安心な農産物が供給できるよう、お客様にとって利用しやすい環境づくりへの支援や経営相談など、ソフト事業に対する支援が行われております。

【平成23年度の意見】

地産地消の推進や地域産業の活性化，特に上河内地域の特色である「農」を活かした産業を推進するためにも，今後とも既存の直売所への支援を充実するとともに，上河内の農産物が多くのお客様に提供できるような仕組みづくりの構築などが必要です。

【平成24年度の意見】

9 農道整備事業

(進捗状況)

農道整備事業については、毎年度、計画的に整備が進められており、平成19年度から平成23年度までの5年間で、延べ6,586.3mの農道舗装工事が行われ、順調に整備が進んでおります。

<参考－執行状況>

	平成19年度から平成22年度	平成23年度	平成24年度(予定)
事業内容	農道舗装工事	農道舗装工事	農道舗装工事
実績	5,486.3m	1,100.0m	820.0m
実績累計	5,486.3m	6,586.3m	7,406.3m

【平成23年度の意見】

農道整備事業については、上河内地域の主要な産業である農業をサポートするうえで大変重要な事業であることから、今後とも効率的かつ効果的な整備が必要です。また、整備に際しては、旧土地改良区を含めた検討も必要です。

【平成24年度の意見】

--

10 地域交流館整備事業

(進捗状況)

地域交流館整備事業については、利用者へのサービス向上や運営の円滑化を図るため、交流拠点としての整備や施設内容の検討が進められているところです。

<参考－執行状況>

	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予定)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地元組織による指定管理者制度の導入 ・利便性を図るための案内看板の設置 ・地域団体等が主体的に実施する交流事業を支援 ・施設の維持修繕 ・今後の整備修繕のための施設整備の劣化診断 ・施設整備のあり方検討(利用者ニーズ調査及び類似施設の調査) 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者や地域団体が連携して実施する各種交流事業を支援 ・「ゆず園」を活用した新たな地域の魅力づくりに向け、指定管理者や地域団体と連携し、講演会や意見交換会を実施 ・「自転車の駅」を設置 ・施設の維持修繕 ・施設整備のあり方検討(利用者ニーズ調査及び指定管理者との意見交換の実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域団体等が主体的に実施する交流事業を支援 ・公共下水道の接続 ・施設の維持修繕(空調設備オーバーホール等) ・平成25年度からの指定管理者更新に向けた候補者の選定 ・平成24年度改定予定の「観光振興プラン」において、施設を活用した誘客促進策について検討

【平成23年度の意見】

地域交流館は、上河内地域の情報発信地として重要な役割を担っておりますことから、都市間交流拠点として、交流人口の増加につながる足湯の設置の他、農業体験などを活かした交流ができる施設の整備拡充や地域ならではのおもてなしの提供が必要です。

また、地域に密着した施設であるため、運営体制を含め、地域のお年寄りが利用しやすい環境づくりに配慮することも望まれます。

【平成24年度の意見】

地域のまちづくりに関する施策の提案（目標の設定）

※下線部分は追加修正した箇所（事務局案）

テーマ	将来像 (地域の理想とする姿)	方 策 (将来像を実現するための解決策)	目 標 (着目すべき目標)
子育て・教育		① <u>地域主催行事への積極的参加の推進</u>	
		② 各種技能者による次世代を担う人材の育成	
		③ <u>スポーツを通じた子どもたちの絆づくりの推進</u>	
		④ <u>地域の連携による地域交流活動の充実</u> 【修正前】各種行事の統一による活動の充実	
		⑤ <u>地域における子育て支援の充実</u> 【修正前】乳幼児支援施設の充実	
環境・景観・防災・上下水		① <u>豊かな水を活かしたまちづくりの推進</u> 【修正前】おいしい水の活用	
		② <u>地域ぐるみの環境保全活動の推進</u> 【修正前】生活環境整備普及	
		③ <u>耕作・山林放棄地の有効活用の推進</u>	
		④ 自然を活かした景観活用交流の充実	
		⑤ <u>災害に強い地域づくりの推進</u> 【修正前】ハザードマップの見直し	
健康・福祉		① 高齢者を活用したボランティア活動の充実	
		② 温泉施設等を利用した健康づくりの <u>推進</u>	
		③ <u>高齢者の外出支援の充実</u> 【修正前】公共交通を充実し生活圏の拡大	
		④ 地元の新鮮な食材を活かした食育の <u>推進</u>	
		⑤ <u>世代間交流を通じた生きがいづくりの推進</u> 【修正前】老人会を活用した生きがいづくり	